

裏妙義-1

1日目：（麻芋の滝・御岳・丁須の頭・第二不動の滝）

山行日 11月21（土）天気：晴れ

参加者 3名

記：SF

コース：麻芋の滝自然公園 6：30 → 麻芋の滝 6：45 → 産泰山 8：00 →
御岳 8：50 → 丁須の頭 10：20 → 第二不動の滝 11：35 →
麻芋の滝自然公園 13：00

コースは登り御岳コースで下りが鍵沢コースです、スタートは麻芋の滝自然公園で約15台位の駐車場とトイレがある、麻芋の滝までは、ハイキングコースとなっていてその先からが、登山道となる、最初に滝越えの鎖場があり、岩が濡っていて滑りやすいその先も九急斜面、鎖場が鼻曲り（龍駒山）まで続く、ここからは、横河駅、鉄道文化村その他の展望が開ける、ここからは緩やかな尾根道となる、産泰山を通過、それ以降御岳までの間に数か所の鎖場がある、御岳には小さな祠があり、ここから丁須の頭が見える、龍沢のコルの間は急な下り、急な登りが続く、又ピークを巻ながらのコースの為、コースを見失わない易い、又3段の鎖場、約7mの鎖場、ロープの有る岩場が続く、その後龍沢のコル、龍沢コースに合流する、ここからは、丁須の頭を巻く様にトラバースぎみのコースで、鎖もあるが、取り付け位置が低いので、通過に注意が必要、その後裏側の回り込み、2か所の鎖場を通過し、急な斜面を登ると、丁須の頭の下部に出る、そこから鎖を登り、1段目のテラスに登る、頭の部分と2段目のテラスに人がいて、頭の部分に登り準備中でした、この日は強風で、風避けにいないと、飛ばせれそうになりそうな状態でしたので、1段目のテラスでの記念撮影を行い、鍵沢コースへの下山を開始した、鍵沢コースは沢の中のコースで最初に急で長い鎖場があり、又落ち葉の堆積が多く足場の確認が難いので、下山するのが大変なコースです、鎖場が終わったあとも、沢の中を下る為、コース取りに苦労した、第二不動の滝まで下り、滝を見ながらの昼食タイムを取った、その後は植林道となり軽快に進んだ、ただこのコースの最後に、以前の九十九コースが崩落している為急斜面を直線で下るコースが変わっていた、最初に2段の橋があり続いて、長い鎖が2本連続する場所を通過そのご少し緩やかな斜面になり、鍵沢登山口に到着、そこからあさお吊橋を渡り麻芋の滝自然公園駐車場に向かった。鍵沢コースは、人の通過も少なくいので、落ち葉の堆積が多く、登山には不向きなコースでした。



登山口 御岳コースから



急な岩場の鎖 岩が濡れていて滑る



岩を巻いて通る 道は狭い



壁に鎖がある 鎖に捕まって登る



下は崖で 狭い



ザンゲ岩より 鉄道博物館が見える



産泰山



急な下り踏み後は薄い



下りの次急な登り下がが滑る



岩沿いの鎖場 ザックが岩にぶつかる



約7mの壁 鎖場



鎖の無い岩場 新しいロープが
ここは、ロープは使用しないで通過



狭い岩場の通過



龍沢の科尔 国民宿舎よりの
コースに合流



丁須の頭手前の鎖場を登り右側にトラバース



トラバースの鎖場



丁須の頭 先行3名が登っている
風が強いので、写真を撮り退散



風を避け第一ステップで記念撮影



本日の下山コース



下山開始直後の急斜面長い鎖場通過



鎖場が連続



壁沿いを進む



第二不動の滝 ここで昼食



通常の九十九折のコースが崩落し2段の梯子と長い鎖のコースもうすぐ下山口に



早く宿に着いたのでまずビールで乾杯